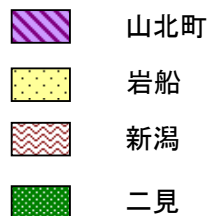
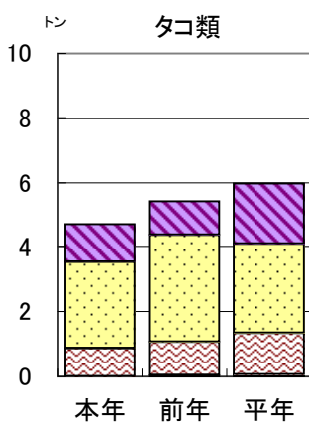
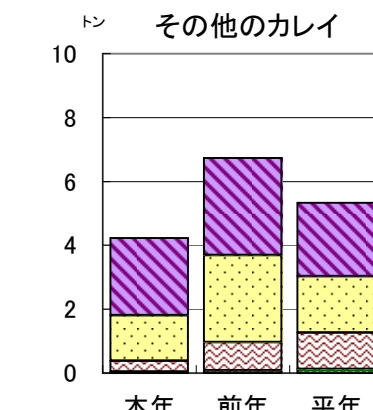
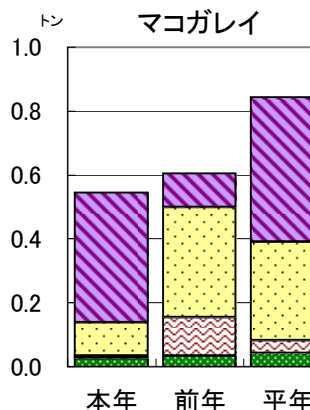
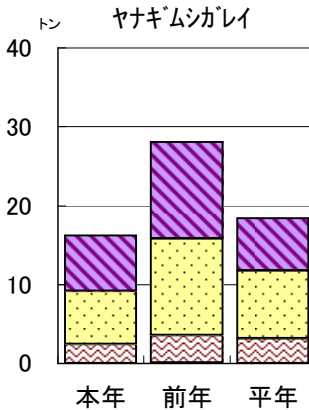
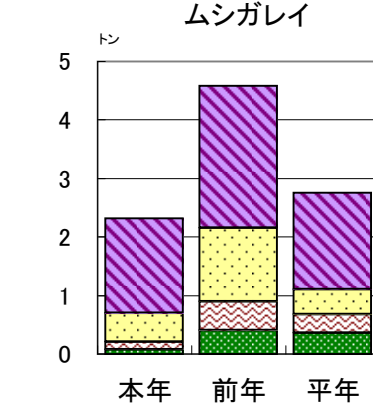
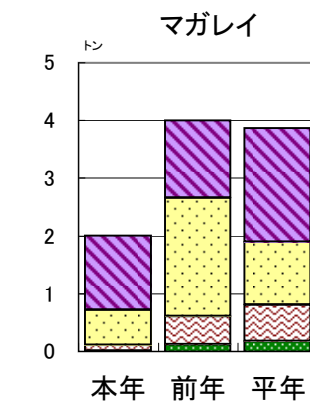
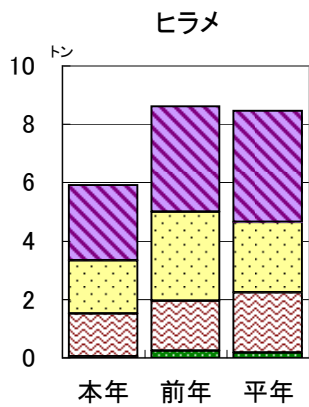


◎板びき網 新潟県内主要地区の水揚量(平成22年1月分)

単位:トン

地区	魚種	ヒラメ	マガレイ	ムシガレイ	ヤナギムシガレイ	マコガレイ	その他のカレイ	タコ類
山北町		2.61	1.28	1.62	7.08	0.41	2.42	1.16
岩船		1.80	0.61	0.50	6.74	0.11	1.43	2.68
新潟		1.48	0.11	0.13	2.43	0.01	0.35	0.86
二見		0.04	0.01	0.08	0.00	0.03	0.04	0.00
計		5.93	2.01	2.33	16.25	0.56	4.24	4.70
前年		8.62	4.00	4.58	28.10	0.61	6.74	5.41
5年平均		8.47	3.86	2.76	18.43	0.84	5.34	5.97



・時化のため1月の延べ出漁隻数は、前年比69%、平年比73%となりました。

・1月の主要4地区の漁獲量は61トンで、前年比55%(金額61%)、平年比64%(金額69%)となり、漁獲量・水揚げ額ともに前年及び平年を大きく下回りました。

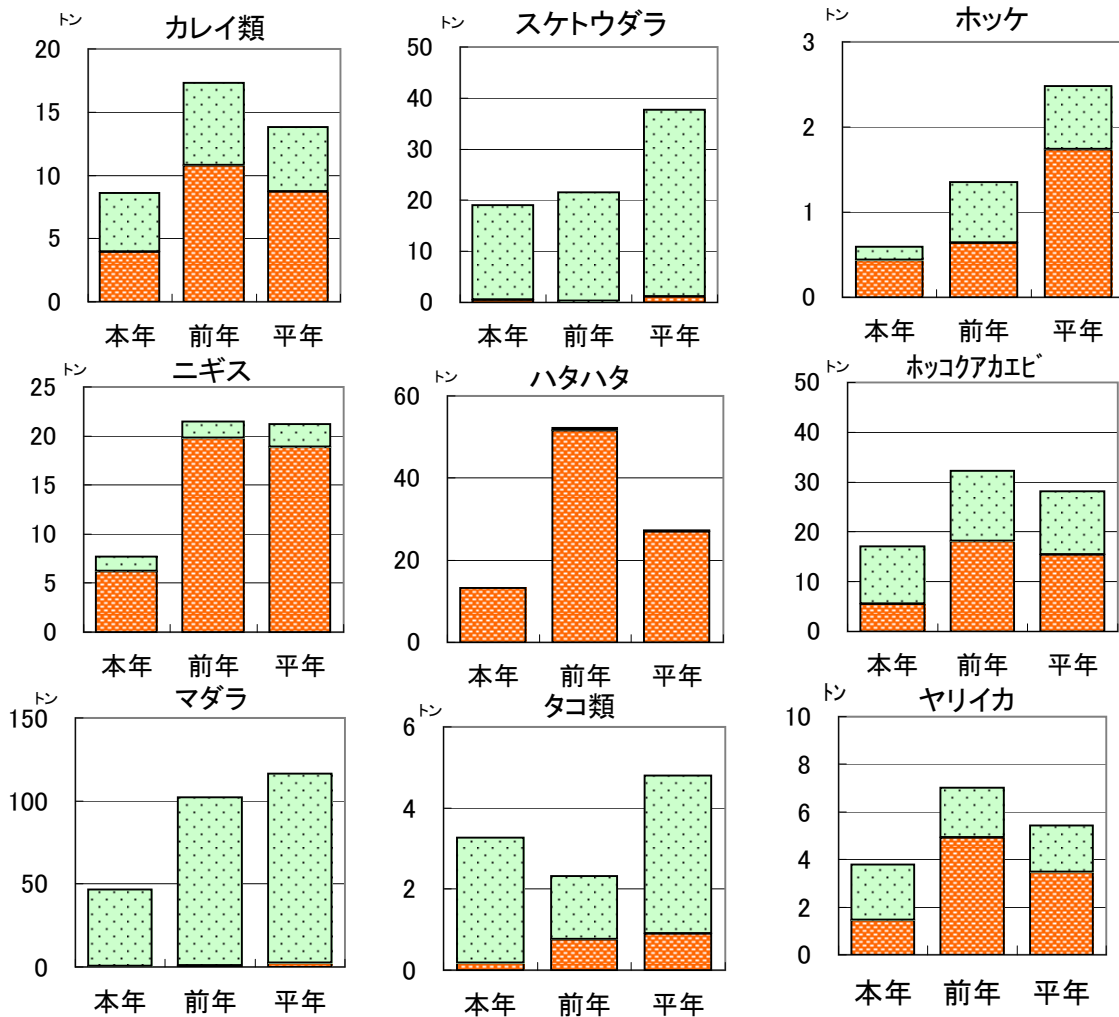
・多くの魚種が前年及び平年を下回りましたが、ムシガレイ及びヤナギムシガレイはほぼ平年並みを維持しており、資源状況は良いと考えられます。

◎底びき網等 新潟県内主要地区の水揚量（平成22年1月分）

単位:トン

地区	カレイ類	スケトウダラ	ホッケ	ニギス	ハタハタ	ホッコアカエビ	マダラ	タコ類	ヤリイカ
山北町	3.08	12.85	0.11	0.65	0.00	0.36	30.42	2.04	1.42
岩船	0.91	5.12	0.05	0.20	0.06	0.02	14.26	0.44	0.52
新潟	0.66	0.52	0.00	0.66	0.01	11.17	1.62	0.62	0.40
出雲崎	0.59	0.13	0.10	0.74	0.01	0.06	0.30	0.05	0.24
名立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.42	0.00	0.00	0.00
筒石	1.48	0.01	0.30	4.78	6.30	0.00	0.16	0.04	0.92
能生町	1.80	0.34	0.04	0.69	6.90	1.31	0.05	0.07	0.28
糸魚川	0.08	0.02	0.00	0.00	0.04	3.72	0.00	0.01	0.00
計	8.60	18.99	0.60	7.72	13.32	17.06	46.81	3.27	3.78
前年	17.31	21.54	1.35	21.48	52.16	32.20	102.08	2.32	7.01
5年平均	13.82	37.74	2.48	21.24	27.25	28.15	116.57	4.79	5.44

■ 山北町～新潟 ■ 出雲崎～糸魚川



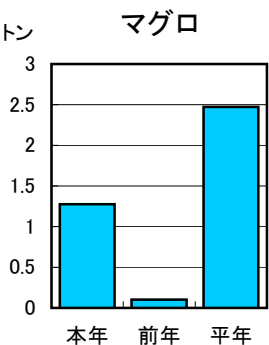
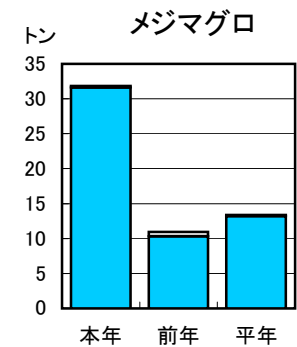
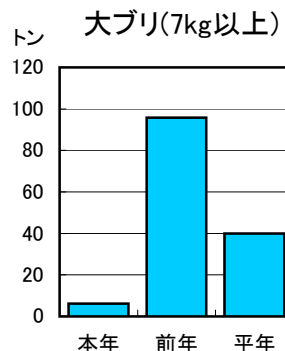
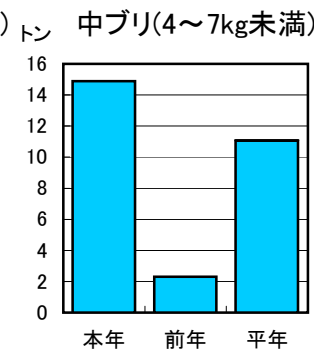
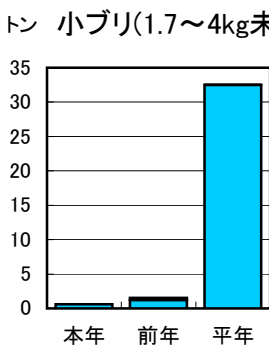
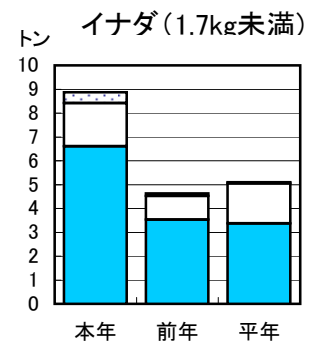
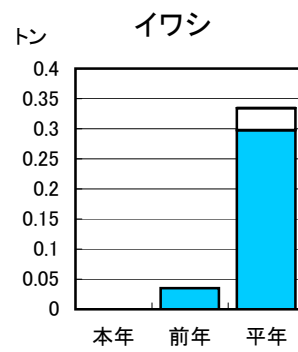
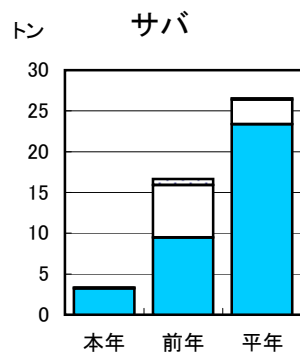
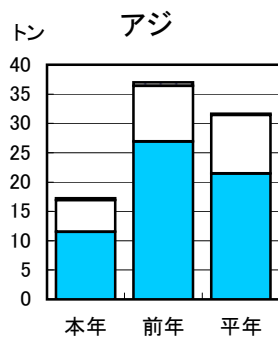
・時化のため1月の延べ出漁隻数は、前年比41%、平年比43%でした。
 ・主要8地区の漁獲量は173トンで前年比47%(金額53%)、平年比49%(同59%)となり、漁獲量・水揚げ額ともに前年及び平年を大きく下回りました。
 ・マダラは前年並みの豊漁が期待されましたが、主漁場の北部海域で前年を下回り漁期もやや遅れています。一方で、佐渡海域(刺網)では前年を上回る漁獲となっています。
 ・上越海域では2月からハタハタが豊漁となり、また、スケトウダラも例年より多く見られています。ハタハタは北部海域においても試験操業等で分布が確認されています。
 ・その他の魚種(全漁法)では、前年比でマダイ20%、アンコウ45%、ズワイガニ(雄)50%となりました。

◎定置網 新潟県内主要定置網の水揚量(平成22年1月分)

単位:トン

地区	アジ	サバ	イワシ	イナダ	小ブリ	中ブリ	大ブリ	メジマグロ	マグロ
両津湾	11.5	3.2	0.0	6.6	0.6	14.9	6.2	31.6	1.3
山北	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
糸魚川	5.4	0.1	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
青海	0.3	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	17.3	3.4	0.0	8.9	0.6	14.9	6.2	31.8	1.3
前年	37.0	16.6	0.0	4.6	1.5	2.3	95.8	11.0	0.1
5年平均	31.6	26.5	0.3	5.1	32.5	11.1	39.9	13.4	2.5

地区	シイラ	サケ	サクラマス	スルメイカ	ヤリイカ	マダイ	ヒラメ	その他	計
両津湾	0.0	0.0	0.0	20.7	5.4	2.4	0.1	53.8	158.4
山北	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
糸魚川	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.5	1.9	10.6
青海	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	1.2	2.3
計	0.0	0.0	0.0	20.7	5.8	2.8	0.7	56.9	171.3
前年	0.0	0.0	0.0	29.3	4.8	0.7	0.7	28.6	233.2
5年平均	0.0	0.0	0.0	157.6	8.5	1.5	1.0	33.3	365.2



青海
 糸魚川
 山北
 両津湾

・1月の定置網水揚量は169トンで、前年比72%、平年比64%でした。
 ・大ブリは前年及び平年を下回り、魚体も小型でした。
 ・メジは平年を上回り好調でした。

◎まき網(平成22年1月分)

単位:トン

港	魚種	アジ	サバ	イワシ	イナダ	ブリ	その他	合計
新	潟	444	548	0	0	0	1	993
寺	泊	0	0	0	0	0	0	0
柏	崎	0	0	0	0	0	0	0
	計	444	548	0	0	0	1	993
前	年	408	396	0	0	1	1	806
5	年平均	651	916	0	1	0	12	1,580

- ・1月の水揚げは前年比123%、平年比63%でした。
- ・サバが前年比138%でした。

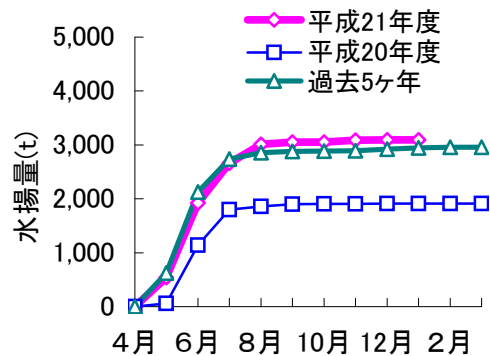
◎いか釣 県内主要地区の水揚量(平成22年1月分) 単位:トン

地区	隻数	水揚量
山北	0	0
岩船	0	0
新潟	0	0
両津	8	1
計	8	1
前年	15	4
5年平均	68	24

隻数:操業した延べ隻数

- ・1月の主要3港での水揚げ1トンで、前年比25%、平年比4%でした。

スルメイカ(生)累積水揚量の推移



◎大型クラゲ情報

2月に入り、本県海域では極く少量の出現報告が数件ある程度となり、ほぼ終息状態となりました。今号をもって大型クラゲ情報は終了とします。

◎近県の漁況...カッコ内の数字(%)は前年同月比(石川県は前年同旬比)

山形県(1月)

底びき網:マダラ84.9トン(98%)、ハタハタ16.2トン(95%)、アンコウ7.9トン(63%)、タイ類9.9トン(51%)、ホッコクアカエビ8.1トン(37%)、ヤリイカ8.2トン(158%)、延縄:マダラ5.2トン(23%)、採貝藻:アワビ0.5トン(25%)、サザエ1.3トン(54%)、ナマコ1.6トン(87%)

富山県(1月)

アジ(定置網、漁船漁業):113トン(44%)、フクラギ(定置網、漁船漁業)70トン(328%)、メジ(定置網):37トン(25%)、ソーダガツオ(定置網)190トン(185%)、ベニズワイ(漁船漁業)74トン(69%)、カワハギ類(定置網):464トン(430%)、スルメイカ(定置網):85トン(147%)

石川県(2月上旬)

定置網:マダラ57.0トン(1349%)、ブリ55.8トン(213%)、アジ53.9トン(72%)、メジ10.3トン(85%)、ウマヅラハギ14.2トン(90%)

刺網:マダラ70.1トン(325%)、底びき網:ハタハタ29.5トン(73%)、アカガレイ16.3トン(60%)、ニギス14.3トン(53%)